



## 平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年12月21日

上場取引所 東

上場会社名 アークランドサカモト株式会社  
コード番号 9842 URL <http://www.arcland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
四半期報告書提出予定日 平成22年12月28日

(氏名) 坂本 勝司  
(氏名) 堀川 優人

TEL 0256-33-6000

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年2月21日～平成22年11月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	67,248	0.2	4,839	5.6	5,137	4.3	2,712	4.4
22年2月期第3四半期	67,095	—	4,580	—	4,925	—	2,597	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	133.74	—
22年2月期第3四半期	128.07	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	64,083	36,118	54.5	1,723.08
22年2月期	61,671	33,853	53.2	1,618.91

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 34,944百万円 22年2月期 32,832百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	10.00	—	15.00	25.00
23年2月期	—	15.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年2月21日～平成23年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,500	2.4	5,900	4.8	6,300	4.1	3,000	5.8	147.92

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3 2. その他の情報をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期3Q 20,690,843株 22年2月期 20,690,843株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 410,386株 22年2月期 410,195株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期3Q 20,280,556株 22年2月期3Q 20,280,726株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成22年2月21日から平成22年11月20日まで)におけるわが国経済は、景気対策の効果もあり一部に持ち直しの動きも見られたものの、円高による企業収益の悪化などにより、依然として雇用・所得環境は改善せず、個人消費が伸び悩む厳しい状況が続くこととなりました。

このような環境下、当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が672億48百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は48億39百万円(前年同期比5.6%増)、経常利益は51億37百万円(前年同期比4.3%増)、四半期純利益は27億12百万円(前年同期比4.4%増)と順調に推移することとなりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <小売事業>

巨大店舗がリードするホームセンター部門の売上高は481億4百万円(前年同期比1.6%減)となりました。11月に高岡中曽根店をオープンいたしました。ホームセンター既存店売上高が、春先より続いた低温の影響による園芸用品及び秋口の残暑の影響による季節用品の売上高落ち込み等により、前年同期比2.7%減と推移したためであります。

その他小売部門の売上高は47億53百万円(前年同期比10.1%増)となりました。7月にオープンしたムサシ食品館長岡店(子会社ランドジャパンが経営)が寄与したことによりです。

その結果、小売事業の売上高は528億57百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

一方、営業利益については、新店のオープンセール、オープン経費が発生いたしました。既存店の粗利益率改善と経費圧縮に努めた結果、前年同期比3.4%増の26億12百万円となりました。

#### <卸売事業>

全国のホームセンター既存店売上高は低迷することとなりました。そのため、卸売事業の売上高は56億88百万円(前年同期比5.8%減)となりました。対して、販管費削減の結果、営業利益は前年同期比1.6%増の7億86百万円となりました。

#### <外食事業>

外食事業は、主力のとんかつ専門店「かつや」の直営店が前年同期末比6店舗増加したことに加え、「かつや」直営既存店売上高が前年同期比3.7%増となったことにより、売上高が70億15百万円(前年同期比14.3%増)となりました。増収効果に加えて、粗利益率の改善もあって、営業利益は9億32百万円、前年同期比37.1%増の大幅増益となりました。

#### <不動産事業>

不動産事業の売上高は16億86百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は4億87百万円(前年同期比16.1%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 連結財政状態の概況

##### (総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して24億11百万円増加し、640億83百万円となりました。前期期末の閑散期に比べ繁忙期となるため流動資産が増加したこと、店舗の新設、移転増床に係る設備投資により有形固定資産が増加したことなどが主な要因であります。

##### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比較して1億47百万円増加し、279億64百万円となりました。有利子負債が減少した一方で、支払手形及び買掛金、未払法人税等が増加したことによるものであります。

##### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比較して22億64百万円増加し、361億18百万円となりました。これは主に当四半期純利益により、利益剰余金が増加したものであります。

#### ② 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して5億46百万円増加し、25億47百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、72億60百万円(前年同期は69億13百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益49億26百万円、減価償却費17億95百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、28億24百万円(前年同期は3億73百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、38億88百万円(前年同期は63億10百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金の純減額11億50百万円、長期借入金の返済による支出20億80百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回公表(平成22年9月22日)いたしました業績予想数値に変更はありません。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,550	2,003
受取手形及び売掛金	2,762	2,217
商品及び製品	10,393	9,759
その他	2,131	1,823
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	17,834	15,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,627	26,920
土地	7,944	7,895
その他(純額)	1,124	1,089
有形固定資産合計	36,696	35,906
無形固定資産		
のれん	13	32
その他	2,046	2,111
無形固定資産合計	2,060	2,143
投資その他の資産		
投資有価証券	652	613
敷金及び保証金	5,350	5,473
その他	1,994	2,151
貸倒引当金	△505	△418
投資その他の資産合計	7,491	7,819
固定資産合計	46,248	45,869
資産合計	64,083	61,671
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,627	10,332
短期借入金	4,350	5,500
1年内返済予定の長期借入金	2,038	2,774
未払法人税等	1,587	247
賞与引当金	394	188
ポイント引当金	2	14
その他	2,116	2,484
流動負債合計	23,116	21,542
固定負債		
長期借入金	148	1,492
事業再構築引当金	16	37
退職給付引当金	766	703
役員退職慰労引当金	427	427
長期預り保証金	3,413	3,517
その他	76	96
固定負債合計	4,848	6,275
負債合計	27,964	27,817

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,603	6,603
利益剰余金	22,501	20,397
自己株式	△637	△637
株主資本合計	34,930	32,826
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14	5
評価・換算差額等合計	14	5
少数株主持分	1,173	1,020
純資産合計	36,118	33,853
負債純資産合計	64,083	61,671

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)
売上高	67,095	67,248
売上原価	45,345	44,921
売上総利益	21,750	22,327
販売費及び一般管理費	17,169	17,487
営業利益	4,580	4,839
営業外収益		
受取利息	23	21
仕入割引	84	79
リベート収入	81	77
持分法による投資利益	80	36
その他	138	108
営業外収益合計	409	324
営業外費用		
支払利息	59	21
その他	5	4
営業外費用合計	64	26
経常利益	4,925	5,137
特別利益		
テナント退店収入	—	102
その他	5	15
特別利益合計	5	117
特別損失		
固定資産売却損	15	13
固定資産除却損	89	121
商品評価損	122	—
貸倒引当金繰入額	—	99
その他	76	93
特別損失合計	303	328
税金等調整前四半期純利益	4,626	4,926
法人税、住民税及び事業税	305	1,709
法人税等調整額	1,608	330
法人税等合計	1,914	2,039
少数株主利益	115	174
四半期純利益	2,597	2,712



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,626	4,926
減価償却費	1,957	1,795
のれん償却額	19	19
受取利息及び受取配当金	△26	△24
支払利息	59	21
売上債権の増減額 (△は増加)	△412	△544
たな卸資産の増減額 (△は増加)	489	△636
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,686	2,294
その他	△649	△218
小計	7,750	7,632
利息及び配当金の受取額	6	5
利息の支払額	△51	△17
法人税等の支払額	△791	△359
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,913	7,260
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△868	△2,590
無形固定資産の取得による支出	△50	△47
敷金及び保証金の差入による支出	△200	△286
敷金及び保証金の回収による収入	733	245
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	7	—
その他	5	△144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△373	△2,824
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,160	△1,150
長期借入金の返済による支出	△3,606	△2,080
配当金の支払額	△405	△608
少数株主への配当金の支払額	△14	△21
その他	△123	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,310	△3,888
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	229	546
現金及び現金同等物の期首残高	1,827	2,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,057	2,547

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(平成21年2月21日～平成21年11月20日)

区分	小売事業 (百万円)	卸売事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	53,219	6,035	6,137	1,702	67,095	—	67,095
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9,395	—	805	10,200	△10,200	—
計	53,219	15,430	6,137	2,508	77,295	△10,200	67,095
営業利益	2,527	773	680	581	4,563	17	4,580

当第3四半期連結累計期間(平成22年2月21日～平成22年11月20日)

区分	小売事業 (百万円)	卸売事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	52,857	5,688	7,015	1,686	67,248	—	67,248
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	8,821	—	772	9,594	△9,594	—
計	52,857	14,510	7,015	2,458	76,842	△9,594	67,248
営業利益	2,612	786	932	487	4,819	19	4,839

(注) 事業区分は事業内容を勘案して、下記のとおり区分しております。

小売事業……………DIY関連用品、園芸用品、ペット用品等のホームセンター、スーパーセンター及びアート&クラフト専門店、食品専門館での店頭販売

卸売事業……………DIY用品等を全国及び当社グループのホームセンターへ販売

外食事業……………とんかつ専門店「かつや」を主力とした飲食店の経営

不動産事業……………不動産賃貸業

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

4. 補足情報

事業・部門・品目別販売実績

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)		増減		(参考) 平成22年2月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
卸売事業	6,035	9.0	5,688	8.5	△347	△5.8	7,719	8.8
小売事業	53,219	79.3	52,857	78.6	△361	△0.7	69,025	79.0
ホームセンター部門	48,901	72.9	48,104	71.5	△797	△1.6	63,136	72.3
D I Y関連用品	12,468	18.6	12,322	18.3	△145	△1.2	15,705	18.0
家庭用品	17,023	25.4	16,636	24.7	△387	△2.3	22,948	26.3
カー・レジャー用品	5,489	8.2	5,683	8.5	193	3.5	7,165	8.2
園芸用品	13,646	20.3	13,167	19.6	△478	△3.5	16,984	19.4
その他	274	0.4	294	0.4	20	7.4	332	0.4
その他小売部門	4,317	6.4	4,753	7.1	436	10.1	5,888	6.7
外食事業	6,137	9.2	7,015	10.4	878	14.3	8,361	9.6
不動産事業	1,702	2.5	1,686	2.5	△16	△1.0	2,293	2.6
連結売上高	67,095	100.0	67,248	100.0	152	0.2	87,399	100.0